

群馬から世界へ。小児用超小型人工心臓開発 プロジェクトの3年間の軌跡と次なる挑戦

詳細はWEBページをご覧ください



来場希望者は事前申込みが必要です。

WEBページから登録をお願いします。

また、オンライン配信（申込不要）も行います。

<https://sites.google.com/gunma-u.ac.jp/nkurita/event>



桐生市
KIRYU CITY



群馬大学
GUNMA UNIVERSITY

Baylor
College of
Medicine

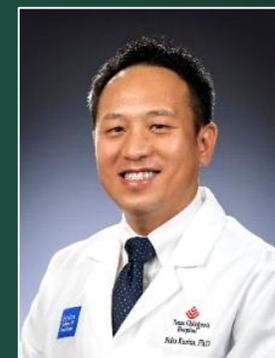
講師：栗田 伸幸 氏

バイラー医科大学 外科部/テキサス小児病院 先天性小児心疾患外科 准教授

2021年、群馬大学初のCF（クラウドファンディング）として、59日間で760人から3098万円（当初目標金額：700万円）の資金を集め「小児重症心不全患者向けの超小型人工心臓の開発」プロジェクトが始動しました。

その後、米国バイラー医科大学/テキサス小児病院に拠点を移し、世界最先端の環境で研究を加速させています。

本講演では、3年間の集大成として、世界最小クラスを実現した磁気浮上型人工心臓の成果と、実用化への展望を語っていただきます。



日時：2026年3月9日(月) 13:30～14:30

場所：群馬工業高等専門学校 共用棟 S-103室

対象：学生、教職員、企業、一般市民

申込：無料、事前申込制（※合同研究発表会参加者は申込不要）

主催：電気学会 東京支部 群馬支所、群馬大学 理工学部

共催：群馬高専、桐生市、「まちの中に大学があり、大学の中にまちがある」推進協議会